

# 中京大学広報 202号

真剣味

2023 May.  
Chukyo University  
Public Relations Magazine



2024年4月

## 人文社会科学研究科開設

100<sup>th</sup>  
UMEMURA  
ベストMAX

※掲載した内容は、取材当時のものです

# 真を、ゆく。

あなたの「真」。  
それは、タフに、しなやかに、ゆく道を照らし、  
夢に向かう原動力となる。  
未来を動かす「真剣味」の精神とともに、  
梅村学園100周年。  
心の真ん中にある個性を大輪のごとく咲かせ、  
信じる道の、真をゆけ。



中京大学 在学生 / 中京大学附属中京高等学校 在校生



学校法人 梅村学園

# 創立100周年



[2023年4月通信制課程 開設]

100周年記念サイト



# 梅村学園 創立 100周年



## 学生の皆さま、保証人の皆さまへ ～総長・理事長メッセージ～

中京大学を中核とする学校法人梅村学園は2023年、創立100周年を迎えました。

創立者の梅村清光が中京商業学校(現在の中京大学附属中京高等学校)を1923年に設立してから一世紀。学園は、校訓「真剣味」と建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を礎としつつ、着実に足跡を重ねてまいりました。こうして栄えある節目を迎えることができたのは、皆さまの温かいご理解、お力添えがあつてのことと深く感謝申し上げます。

とはいえ、100周年は一つの通過点であり、より大切なのは、次なる100年に向けてどう歩むかということであろうと考えます。その最初の年に当たる2024年は中京大学の開学70周年でもあり、学園の新たな長期ビジョン「UMEMURA VISION 2033」と、大学と高校の新たな長期計画「NEXT10 2033」、「NEXT10-sh 2033」をスタートさせ、全教職員一丸となってさらなる改革に邁進する所存です。

梅村学園・中京大学は、社会に貢献していける人材の育成を目指し、この先も力強く挑んでまいります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

学校法人 梅村学園 総長・理事長 梅村 清英

## 梅村学園創立100周年事業(抜粋)

### ■学園史編纂

一世紀に及ぶ学園各校の足跡を改めて調査し、詳細な歴史を残す学園史の編纂を進めています。

### ■寄付金事業

2017年5月より、梅村学園創立100周年記念寄付金事業を展開しています。中京大学、中京大学附属中京高等学校の「キャンパス整備」をはじめ、「教育活動」「研究活動」「社会・地域連携」「スポーツ活動」など、11項目の支援対象を設け寄付金を募集しております。23年3月現在で約23億円のご寄付をいただいております。

#### ●給付奨学金

・梅村学園100周年記念留学給付奨学金  
・梅村学園100周年記念ひとり暮らし給付奨学金



詳細はこちら

#### ●トレーニング施設の整備



コンテナ型トレーニングルーム



#### ●課外活動や研究活動への寄付

##### 感謝の声

研究室の運営には多くの支出を伴います。学生が自ら考案した研究テーマでは、非常に学術的価値が高いものであっても相応の予算を配分することが難しいという悩みを抱えていました。いただいた寄付金は学生達の研究の追い風となるような形で有効活用させていただいています。



渡邊研究室



寄付金「感謝の声」

梅村学園創立100周年記念寄付金「感謝の声」中京大学渡邊研究室より一部抜粋

## [学生・生徒の目指す人間像]

### ■ 行動(挑戦)を楽しもう

描いた夢が大きければ大きいほど立ち足はかかる壁もまた大きくなります。その壁は全力で取り組むほど、仲間とともに挑むほど、そしてまだ誰も乗り越えたことがないものであるほど、乗り越えたときの楽しさもまた大きくなります。それが自身の成長につながる信じ、進取の精神でより多くの挑戦を楽しんでください。

### □ 真実(真理)を探究しよう

地球規模で大きな変化が訪れる時代を生きていくために、物事の本質を求め、正しさや美しさを見極める重要性が増えています。変化に柔軟に適用しつつ、世界的な社会課題の解決に挑むため、その要因や関連性を多角的に掘み取り、真善美に至る努力をしましょう。真実の探究は正しい答えと新しいイノベーションを生み出します。

### ■ 人間味を養おう

急速に進むデジタル化と超スマート社会の到来、ダイバーシティとグローバル化の進展など急激に変化する社会のなかで、人と人との関わり合いにも多様性が増えています。そんな未来社会では、社会の変化にも適応できるしなやかさと人間力が今以上に求められます。人と人とのつながりを大切に、相手に敬意をもって協力し合うことで、スポーツマンシップにもとづく人間力が養われます。

## 中京大学 「NEXT10 2033」

### 5つの骨子と10の推進分野

中京大学は、2024年(令和6年)に開学70周年を迎えます。これまで本学では、教育・研究を主軸に様々な改革に取り組むことで、常に「挑戦する大学」として歩んできました。2014年度からの「NEXT10」に代わり、2024年度からは新たな長期計画「NEXT10 2033」がスタートします。この計画の遂行にすべての教職員及び学生が協働で取り組み、さらなる改革に挑んでいきます。

#### 5つの骨子

[1] 教育 新たな価値を創造し、  
社会の発展に貢献できる人材を輩出する

建学の精神である「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」に基づく発展的教育について、学修成果等の情報からさらなる質の向上を推進し、個人々の可能性を最大限に伸長する学修者本位の教育を実現する。世界的な社会課題に対して、創造的な解決へと導くことのできる能力を備えた人材を社会に輩出する。また、地域社会の幅広い世代に学び直しの場を提供することにより、社会の発展への寄与を目指す。

[2] 研究 特色ある優れた研究を推進し、  
教育と社会に還元する

多様な学問分野が集う総合大学として、本学の特色ある研究と、複数の分野を融合させた新領域の研究を推進する。研究成果を教育へ還元することで、時代や社会の要請に応える人材の育成と輩出に寄与する。また、国・地方自治体・企業等との産官学連携による研究活動の実施を通じて、未来に向けた社会のイノベーションに貢献する。

[3] 国際化 多様な交流を促進し、  
グローバル社会で活躍する人材を育成する

多様な国際交流プログラムを活用した学生の海外留学や研修への参加、学部・研究科によるグローバルな視点からの教育カリキュラムの提供を通じて、外国語コミュニケーション能力、異文化理解力を涵養する。「世界をキャンパスに、キャンパスを世界に」のスローガンのもと、海外からの留学生や外国人研究員の受け入れを促進し、学生・教職員の国際交流をさらに加速させることによって大学のグローバル化を進め、国際的に活躍できる人材を育成する。



[4] 学生支援 多様な学生を支え、自立を促す

多様な学生が安心・安全で快適な学生生活を送れるように、入学から卒業に至るまでの学修支援、生活支援、進路支援といったあらゆる面で誰一人取り残すことの無いよう、支援を充実・強化する。すべての学生が対等な個人として尊重される快適で安全な環境整備をさらに進め、授業や課外活動などの学生生活を通じて社会性や人間性において総合的な力を発揮する有為な人材として社会に進出できるようにサポートする。

[5] 社会連携・社会貢献 持続可能な社会を目指し、  
社会課題の解決に貢献する

教育力、研究力を中心とした知的資産、名古屋、豊田の各キャンパスが保持する資源及び蓄積されたスポーツの力を最大限に活用した国・地方自治体・企業等との産官学連携活動によって社会課題の解決に貢献する。愛知県、中部地区を中心とした地域交流、地域活性化へ貢献、さらには全国レベル・世界レベルでの本学の価値創出を学生と教職員が一体となって実現していく。また、社会で広く活躍する卒業生同士の連携、あるいは在学生との連携により、共に愛校心を深め、本学を軸とした成長を促進する。

## 中京大学附属 中京高等学校

## 「NEXT10-sh 2033」

「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」この100年の間、私たちの心に根ざした建学の精神は力強く歩みを進める道標として輝きを放ってきました。そして、次なる100年に向けた第一歩も普遍の理念として行く先を照らしてくれています。私たちが推進していく附属高校の長期計画「NEXT10-sh 2033」は、高校から大学院に至るまでの一貫教育の中にあり、中学生の次なる「目的地」となる学校として、常に魅力ある情報を社会に向けて広く発信していきます。



#### 5つの骨子

[1] 教育 文武不岐\*の体現

世の中と生徒のニーズに合った教育を実現するため、「東大プロジェクト」などのきめ細かい個別指導や、横断的・総合的な問題解決の能力を育むための探究活動を推進する。将来的に「東大生アスリート」のような文武不岐の体現を目指す。

\*「文武不岐」とは、「文武岐(わか)たず。文と武は一本道であつて、相分かることなし」と解釈される。

[2] 教科外活動 スポーツ戦略の具現化

スポーツ分野において、他の学校では実現できないような特色を発揮する。特にスポーツクラスは本校のスポーツの中心となることができるように競技面だけでなく、学習や学校行事など様々な場面で活躍・貢献できるように展開する。

[3] 高大連携 7年一貫教育の推進

「生徒自身に成長を実感させる」ことに軸を置き、社会とのつながりを意識した高大連携行事など、キャリアデザインを意識した学びを充実させる。そのために、教職員だけでなく卒業生との連携をさらに強化し、カリキュラムや学校行事、推薦基準を常にブラッシュアップする。

[4] 社会連携 中高・高高・地域連携

生徒募集・教育・進路などあらゆる場面で社会連携のしくみを整える。特に、少子化や教員の働き方改革に伴い部活動を民間事業者や地域のスポーツクラブに移行していく流れの中で、卒業生や周辺中学・高校・企業などの様々な組織と段階的に連携しながら魅力的な部活動運営を目指す。

[5] 国際化 <Chukyo to the World>の体系化

海外提携校との交流や長期留学制度の確立など、これまで中京高校で行ってきた施策をベースに、英語以外の言語の学習環境提供や理系科目を含めた教養力育成にも目を向け、国際教育を体系化する。

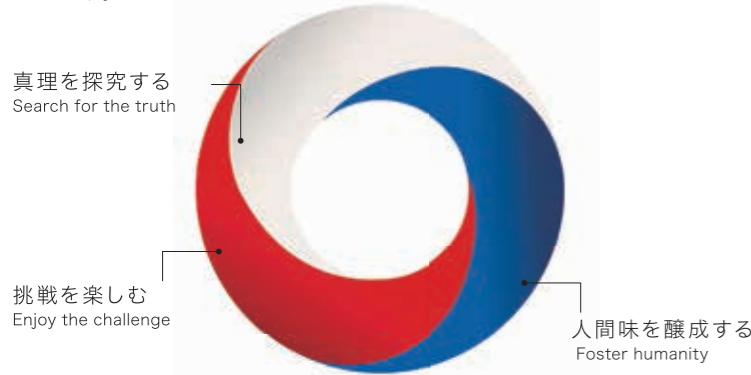
## 学校法人 梅村学園

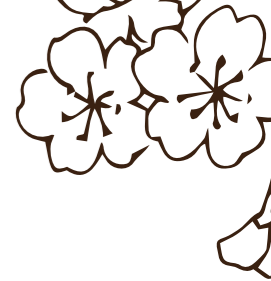
## UMEMURA VISION 2033

### 挑戦と調和 Challenge and Harmony

真実の美、行動の美、人間の美の追求を通じ、  
社会にとってなくてはならない人材を輩出していきます。

まっすぐに真実を探究する精神、勇猛果敢に行動する姿勢、他人への敬意と誠実さをもった人。世界が抱える社会課題を自分の事として捉え、正面から向き合い、自分なりの方法で貢献できる人。それが「社会になくてはならない人材」。梅村学園は、そんな人材を社会に輩出していきます。



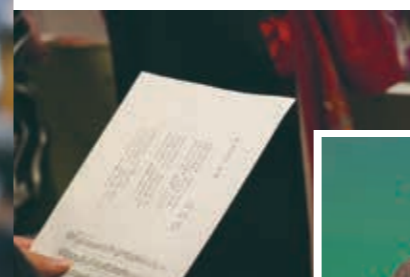


# 卒業式

## 2771人が次の一步を踏み出す

中京大学の2022年度卒業式が3月21日、日本特殊陶業市民会館（フォレストホール）で行われ、学部生2708人、大学院生63人が晴れの日を迎えました。梅村清英学長は式辞で「母校・中京大学を忘れることなく、学びを続け、さらに大きなステージへと飛躍してってください。必ず道は拓けます」とエールを送り、各部では卒業生の代表から謝辞が述べられました。

学長式辞、各部の学生代表謝辞は公式ホームページをご覧ください。



大丈夫。

かけがえのない思い出たちが  
背中を押してくれるから。

メディア  
取材



式典終了後、在学中に四大陸選手権やグランプリシリーズなどに出場した横井ゆは菜さん（スポーツ科学部）が、メディア取材に対応しました。充実した環境への感謝や今後のビジョンについて、横井さんらしい晴れ晴れとした表情で語りました。



そう思える母校は、私の誇りになる。

まだまだ中京大生でいたい。



# 入学式



## 3404人が希望と決意を胸に

中京大学の2023年度入学式が4月4日、日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で行われ、学部生3298人、大学院生106人が喜びの日を迎えました。梅村清英学長は式辞で「大学生活を通じて主体的に考え、しなやかに、かつ大胆に行動する力を養ってってもらいたい」と語り、各部では新入生の代表が宣誓、大学生活で成し遂げたい目標や決意を語りました。

学長式辞、各部の学生代表宣誓は公式ホームページをご覧ください。



ありがとうございます。  
門出を喜んでくれて



やっと立てた

スタートライン。

始まりに、胸高鳴る。



メディア  
取材



式典終了後、スポーツ科学部に入学したフィギュアスケートの河辺愛菜選手、松生理乃選手、横井きな結選手がメディア取材に対応しました。競技での目標はもちろん、キャンパスライフでの楽しみや期待について語り、会場は和やかなムードに包まれました。



### 経営学部 井関紗代ゼミ スターボックスで モバイルオーダーのプロモーション活動を展開



PROFILE 左から  
中村 颯太さん  
松久 将大さん  
飯田 藍子さん  
佐藤 果歩さん

「はびもばキャンペーン」と題したこの活動は、消費者にモバイルオーダーの利便性を知ってもらい、継続的に活用してもらうきっかけ作りが目的です。マーケティングを学ぶ井関ゼミの2年生がキャンペーン動画や販促物を作成し、SNSを活用したり、直接お客さまにお声がけしたりすることで、モバイルオーダーの利用率向上という成果につなげることができました。キャンペーン後には、アンケート調査の結果や改善点などをまとめ、スターボックスコーヒー株式会社中京大学名古屋キャンパス店の皆さまに報告しました。

### 2022年景気シンポジウム 「日本経済の現状と展望」開催



panelist  
左から

田中 耕太郎氏  
経済産業省 中部経済産業局長  
中島 健至氏  
日本銀行 名古屋支店長  
宮崎 直樹氏  
中部経済同友会代表幹事・  
トヨタ紡織株式会社取締役副会長

同シンポジウムは、中京大学と中部経済同友会共催「中京大学公開講座経済・経営シリーズ」として開催されました。今後の日本経済の展望について産官学それぞれの専門家たちが議論しました。約200人が聴講し、日本経済や中部経済の動向について注目が集まりました。



### 卒業生（愛知県庁在職）と 内定者との意見交換会を開催



### スポーツ科学部 芦塚倫史ゼミ 「プロギング(ジョギング×ごみ拾い)中京」を実施



プロギングとは、ジョギングとごみ拾いを組み合わせたスウェーデン発のフィットネスです。このイベントには中京大生のほか、CHUKYO 6 SPORTSの取り組みの一環として、パートナー企業である株式会社コプロ・ホールディングスにも参加いただきました。



愛知県庁に勤める本学の卒業生が、2023年度愛知県庁に入庁予定の内定者の相談に応じました。内定者からは、興味のある部署の具体的な業務内容や働き方や、入庁前にしておくこと、成長するために必要なことなどさまざまな質問があり、実際に働いている職員の皆さんは後輩たちのために親身に回答していました。内定者たちからは「入庁前の不安が解消された」といった感想が聞かれ、有意義な時間を過ごした様子でした。



### 2022年度課外活動奨励賞(上半期)授賞式



課外活動奨励賞は、課外活動で優秀な成績を収めた学生および団体に対し中京大学校友会が授与するものです。スポーツ分野および社会・文化活動分野の個人46人と5団体が受賞しました。



### スポーツ科学部創作ダンス発表会を開催



### 工学研究科 小林大起さん、橋本学教授 「ViEW2022 (ビジョン技術の実利用ワークショップ)」 優秀論文賞を受賞



PROFILE 左から

橋本 学教授  
小林 大起さん  
工学研究科(修士2年)  
橋本研究室



同ワークショップは、先進的かつ実用的な画像処理技術の発展に貢献することが目的です。小林大起さんと橋本学教授の共著論文「テクスチャドメイン間における実欠陥特徴の転移に基づく異常検知」が優秀論文賞を受賞しました。

### 経営学部 錢佑錫ゼミ 「産学連携ビジネスコンペティション2022」3位



同コンペティションは、学生と社会人がチームを組み、社会課題の解決と持続可能なビジネスの構築を目的としています。ゼミ生らはペットボトル消費量削減のための施策を検討し、さまざまな飲料メーカーと交渉。期間限定で食堂にドリンクサーバーを設置しました。



スポーツ科学部「スポーツ実技C(ダンス)」履修生や、ダンス部やチアリーディング部など学内オーディションを勝ち抜いたグループがダンスパフォーマンスを披露しました。60年以上の歴史があるイベントで、地元の小中学生をはじめ、地域住民の方も多く来場しました。



### 発展途上国の子どもたちにワクチンを ペットボトルキャップ回収ボックスを設置



エコサークル「エコアクション」が、豊田キャンパス随所にペットボトルキャップ回収ボックスを設置しました。キャップはNPO法人に引き渡し、リサイクル資源となります。売却益をもとにunicefと連携して発展途上国の子どもたちへワクチンが提供される予定です。

文学部歴史文化学科  
合同研究発表会の表彰式を実施



文学部歴史文化学科2年生が受講する「踏査基礎演習」の合同研究発表会の表彰式が行われました。3週にわたり研究成果が発表され、学生の投票により、1位に選ばれた3チームは梅村清英学長から学長賞が贈られました。

チュウグルも活躍!



名古屋駅の中央コンコースでTongaliプロジェクト 参画大学による合同イベントが開催されました。中京大学は、CHUKYO 6 SPORTSのアスリートたちによる体力測定イベントを実施。参加者は自身の記録を学生アスリートらの記録と見比べ、一喜一憂している様子でした。参加者にはオリジナルグッズが贈られ、チュウグルと写真を撮るなど楽しく過ごしていました。



フードロス削減へ  
株式会社クラダシから飲料水が学生に届く



株式会社クラダシから飲料水1008本を寄贈いただき、中京大学および附属高校の学生・生徒らに分配しました。寄贈された飲料水は防災貯蓄用の長期保存水で、今年11月に賞味期限を迎える商品です。学生・生徒らは練習や試合などの給水で活用する予定です。



総合政策学部  
プロジェクト研究報告会を実施



総合政策学部のプロジェクト研究は少人数演習型の授業で、特に能動的学修に傾注した授業であり、学部の最重要科目に位置付けられています。同報告会は、「研究報告型」と「政策提案型」に分かれ、1年間の研究成果をプレゼンテーション形式で報告しました。

古文書室「博物館展示論」履修学生による  
実習展示を実施



「第19回先端研究交流会」開催  
研究発表や大学院生による報告が行われる



同授業は、学芸員課程を履修する学生にとって必須科目であり、学芸員や博物館の展示について興味のある学生が多く受講しています。今回の展示では、3つのチームに分かれ、展示に向けたテーマ設定、資料集め、解説の作成など、学生が主体となって取り組みました。展示物の中には、学生自ら保管していた資料を展示し、昔と今の変化が分かりやすいようにするなど、観覧者の理解が深まるような工夫が見られました。



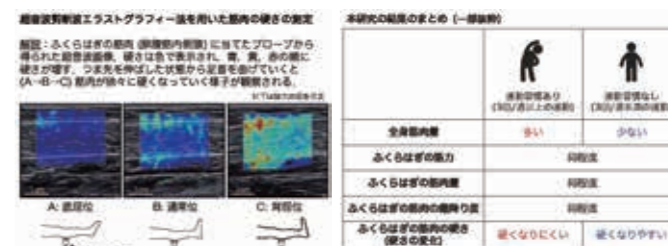
同交流会は、各研究所が日頃取り組んでいる研究内容について、意見交換を行うことで新たな分野が生まれ、新しい視点から研究を深めたりすることが目的です。今回は対面とオンラインで開催しました。参加した学部生は「就職先がAIと関連する企業で、AIとの共生について興味があり参加しました。とても良い刺激を受けました」と話しました。

MIRAIへつなぐ「夢の教室」in豊田  
東京五輪出場のアルーダウィ イサ選手が登場



「夢の教室」は、日本サッカー協会が全国で展開し、トップアスリートが子どもたちに夢を持つことの大切さを教えています。今回は、豊田市立山之手小学校の児童に対してオンライン形式で行われ、東京五輪に出場したイサ選手(スポーツ科学研究科1年)が登場しました。

若者の運動習慣と筋肉の硬さに関する  
新知見を発表



教養教育研究院の吉子彰人講師らの研究グループは、若者の筋肉の硬さに関する新知見を発表しました。運動習慣のあり・なしでは、筋力や霜降り(筋肉内の脂肪)度合いが同程度であったのに対して、筋肉の硬さに違いがあることがわかりました。



中京大学生専用合同企業説明会  
「Chukyo企業研究EXPO」を開催



Chukyo企業研究EXPOが、愛知県体育館ドルフィンズアリーナで開催されました。キャリア支援課が主催する中京大学生専用の合同企業説明会です。3年ぶりに対面開催し、約240社もの企業がブース出展しました。参加した企業担当者は、中京大学卒業生が多く見られ、担当者が卒業生であることを明かすと、驚きの声や歓声が起こり、積極的に質問する姿が見られました。



2022年度チャレンジ奨励金  
最終報告会開催&優秀賞を表彰

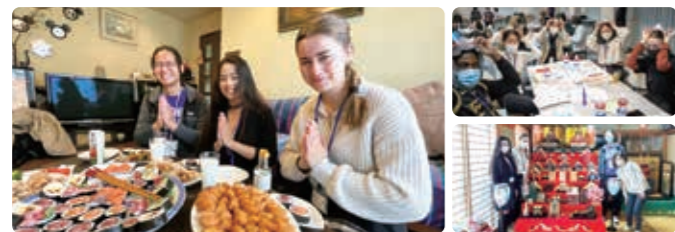


2022年度中京大学チャレンジ奨励金に採択された6組が名古屋キャンパスで今年度の活動について最終報告を行いました。中京大学チャレンジ奨励金は、チャレンジ精神を持つ学生や学生が構成する団体に対して奨励金を給付します。大学の主人公である学生が、様々なことに積極的に取り組める環境を整備することが目的の制度です。

2022年度優秀賞

中京大学アクティブ・ラーニング<キャラバン>  
~学びの楽しさを子ども達と共に~  
代表:森下新之輔さん(文学部3年)

外務省主催「KAKEHASHIプロジェクト」  
訪日したカナダ大学生を2日間受け入れ



「KAKEHASHIプロジェクト」を通して本学学生とカナダから来学した大学生25人が文化交流を行いました。参加者たちは、筆ペンを使用した書道体験や茶室での茶道体験などを行い、日本文化に対する理解を深めた様子でした。



愛知総合工科高と中京大学工学部  
高大連携協定締結後、初の企画を実施



愛知県立愛知総合工科高校理工科2年生が中京大学工学部を訪問しました。大学教員に対して高校生自身の研究を報告し、学内研究施設の見学などを行いました。中京大学と愛知総合工科高が高大連携協定を締結後、初めて実現した企画です。



中京大学附属中京高校と中京大学の高大連携  
キャリアサポートガイダンスを開催



中京大学附属中京高校1年生を対象に、将来のキャリアを実現するための学びの場である「キャリアサポートガイダンス」が名古屋キャンパスで開催されました。自らの将来の理想の姿を思い描くことで、高校生活の過ごし方を考える機会となるよう毎年行っています。

経営学部の学生2人が  
開発に携わったクラフトビールがイオンで販売



総計268人が受賞  
2022年度体育会功労賞授賞式



体育会活動で功績のあった団体や個人を表彰する体育会功労賞授賞式が豊田キャンパスで行われました。受賞したのは、日本学生水泳選手権大会(インカレ)で11年ぶり2度目の優勝を果たした水泳部女子など、10団体と個人56人です。



経営学部の学生2人が名古屋のクラフトビールブルワリー Y.MARKET BREWINGと共同開発したクラフトビール「若者に贈るエール」が、東海エリアのイオンで販売されました。販売に先駆けイオン八事店にてお披露目会が行われ、テレビや新聞など多くのメディアが来場しました。

PROFILE

杉田 一将さん(4年) 尾関 太朗さん(同)



グローバル教育センター  
留学生ウェルカムパーティーを実施



交換留学生のウェルカムパーティーを盛大に開催するのは約4年ぶり。企画・運営したのは中京大学学生ボランティア団体「VOICE」。今期はアメリカ、イタリア、フランスなど7か国から、計24人の交換留学生を受け入れています。





# 心理学的に見る 大学生のお子様への接し方



今回、講師を務めるのは…

中京大学心理学部  
小島 康生教授

研究分野 発達心理学、家族心理学



## 1 心理学的には、大学生ってどんな時期？

アメリカの心理学者エリクソンは、人生を8つの段階に分け、それぞれの時期に特有の発達課題があると考えました。エリクソンの説では、大学生は5つめの段階である「青年期」に当たります。エリクソンは、青年期の発達課題を「アイデンティティーの確立」と考えました。



## 2 自由？責任？

自由度が高い大学生活ですが、言い換えれば自分で考え決断し、責任をもって行動することが求められます。そのため「これでいいのかな」と思い悩むことも増えます。しかしその機会こそが、アイデンティティーの確立につながると考えられています。



## 3 親子の出会いなおし

「第二次反抗期」という言葉があります。「まだまだ子ども」と考える親と「もう自分は自立した大人」と考える子どもの間に生じるズレから、親子が激しく衝突することをイメージする言葉です。青年期は「心理的離乳」の時期ともいわれます。「離乳」は赤ちゃんが授乳されなくなることで、心理的離乳は子どもが精神的に親から自立することをいいます。

この自立は、対等な間柄としての親子関係を紡ぎ出すため、ある人はこれを「親子の出会いなおし」と表現しています。



## 4 アイデンティティー問題に悩んだ人は成長する！

大学生では、学年が上がると自分の進路(就職や進学)について真剣に悩む機会が増えていきますが、それもアイデンティティーの確立には必要な過程です。しっかり自分に向き合い、悩み、納得できる進路を見つけ出せた人は、その過程で成長し、その後の人生も豊かになるでしょう。



### 親としてできること ▶ 親の考えは「押しつける」のではなく「伝える」

心配になり、あれこれ口を出したくなるお気持ちは十分わかります。しかし、親の考えを“押しつける”ことは絶対に避けたいところです。親の考えは、子どもに“伝える”にとどめ、適度な距離を保ちながら、子ども自身が自分なりの答えを導き出すのを見守ること、子どもが親にヘルプを出しやすい雰囲気づくりを意識してみてください。

焦らず慌てず、お子様を信じてあげてください。それが対等な人間同士として「親子の出会いなおし」につながるはずです。

### 梅村学園創立100周年記念企画メモリアルゲームズ ～三重県立四日市高校～



三重県立四日市高校をお招きして、交流式典、硬式野球部との記念試合を11月12日に行いました。式典に先立って、11月10日には本校教諭3人が同校を訪問し、授業見学・情報交換をしました。今回の交流を通して、さらなる発展につなげていきたいと思ひます。

#### 四日市高校とのつながり

夏の全国高校野球選手権で両校とも優勝経験があり、特に昭和30年、四日市高校が優勝した時の大会では、その準決勝で中京商業高校(現中京大学附属中京高校)と対戦しています。また両校の校歌の作詞が佐佐木信綱氏、作曲が弘田龍太郎氏、校訓が「文武両道」であるなど、数々の共通点がありました。

四日市高校の皆さん  
ありがとうございました！



### 第13回国際ピエール・ド・クーベルタンニュースフォーラム 三村優月さん(国際コース2年)が日本代表として参加



第13回国際ピエール・ド・クーベルタンニュースフォーラムが11月1日～7日までドイツのミュンヘンにて開催され、本校からは三村優月さん(国際コース2年)が参加しました。

このフォーラムは2年に一度、世界中から高校生が集まり、講義や討論、スポーツやアート活動を通してオリンピズムを学び、交流を深め合う場として開催されています。引率教員として本校保健体育科の内藤智教諭も参加しました。

約1週間の活動には、18ヶ国約60人の生徒が参加し、スポーツ活動やディスカッション、芸術的な活動(ダンス・歌・絵画)などさまざまな交流を行いました。日本の文化を多くの人に知ってもらうだけでなく、国や文化の違いを感じながら多くの学びを得た貴重な機会となりました。

三村さんは、3月20日の終業式で活動報告を発表しました。世界各国の代表生徒たちとお互いの国々への尊敬の気持ちや、理解を深め合う交流の様子を伝え、生徒たちは三村さんの発表に聞き入っていました。



### 【フィギュアスケート】埼玉インターハイ 女子総合優勝

令和4年度第72回全国高等学校スケート競技選手権大会が1月16日～17日、埼玉県上尾市の埼玉アイスアリーナで開催されました。無観客試合となりましたが、本校女子が2年ぶり11回目の総合優勝、個人では河辺愛菜選手が初出場・初優勝を飾りました。男子も、学校対抗準優勝という結果を残すことが出来ました。

出場者及び個人の成績は以下の通りです。(カッコ内の数字は順位)

| 女子    |             |              |              |
|-------|-------------|--------------|--------------|
| 河辺 愛菜 | SP 66.65(1) | FS 127.36(1) | 総合 194.01(1) |
| 松生 理乃 | SP 63.07(3) | FS 117.90(2) | 総合 180.97(2) |
| 吉田 陽菜 | SP 65.67(2) | FS 108.20(4) | 総合 173.87(4) |
| 男子    |             |              |              |
| 中村 俊介 | SP 80.69(1) | FS 131.52(2) | 総合 212.21(2) |



国民体育大会(青森県・八戸市)には、松生選手、吉田選手、中村選手、四大陸選手権(アメリカ・コロラドスプリングズ)には、吉田選手が出場しました。



詳しくはこちら

## 2022年度の就職活動の振り返りと今後の採用動向について

新型コロナウイルス流行の影響を大きく受けた観光・旅行業界や航空業界をはじめ、多くの業界が前年度から採用数を増やし採用意欲回復の兆しが見られた2022年度就職活動。23年度も引き続き企業の採用意欲は回復基調にあります。インターンシップの定義変更や実施に伴う採用活動の早期化等注意すべき点があります。

今後の就職活動やキャリア支援についての展望を解説します。



お話しするのは…  
学生支援部副部長(キャリア支援担当)  
兼 キャリア支援課豊田オフィス課長

佐野 誉臣



## 説明会や選考のオンライン化は定着、文理問わずデジタルに強くなれるかがカギ

コロナ禍をきっかけに広まったオンラインによるインターンシップや会社説明会、選考は今後も定着するでしょう。時間や距離を気にせず遠方で行われる会社説明会等にも気軽に参加できるようになり、就職活動をする学生にとって様々な業界・企業を見ることができるようになり、選択肢が広がる良い流れだと思えます。但し、コロナ禍が落ち着きを見せる中、選考等について「対面形式での比率を増やす」と考える企業も増えてきており今後注意が必要です。また、昨今はインターンシップへの参加が一般化していますが、今年度から、25年卒業生以降のインターンシップが新たに定義されることによる影響についても注視していく必要があります。

キャリア支援課に相談に来る学生は3年生・修士1年生がメインですが、1～2年生が「今から何をしておくべきですか?」と素朴な質問をしにやってくることも珍しくありません。低年次生では具体的な将来像ではなくとも、様々なことに興味を持ち「まずは視野を広げる」など目標を立て、自ら行動を起こすことが、より有意義な学生生活を送ることにつながります。また、「特になりたいものがない」という学生こそ、「オープン・カンパニー」※に分類されるようなインターンシップ等への参加をお勧めします。

今後は、企業の「デジタル人材の拡充」ニーズに伴い、文系・理系問わず、デジタルに強く、コミュニケーション力の高い学生が求められます。中京大学では、従来の「キャリア教育科目」に加え、全学部生が受講できる「データサイエンス科目」を開講しています。今後は先を見越したキャリア支援が行えるよう、尽力してまいります。



### これからのキャリア&就職活動のポイントまとめ

#### ■ まずは充実した学生生活を過ごしましょう

学業を中心としながら様々なことを経験しましょう。部活・サークル活動、アルバイト、ボランティア、資格取得、留学など目標を持って活動することが就職活動にも活きてきます。

#### ■ キャリア支援課を積極的に活用

キャリア支援課では学生一人ひとりの人生と一緒に考えます。将来の姿を想像して早めの行動が大切です。

#### ■ キャリア・ナビはこまめにチェック

中京大学生しか見られないリアルな就職情報が詰まったキャリア・ナビ。各種イベント予約や面談予約も受け付けています。



詳しくはこちら

#### ■ インターンシップ等への参加

近年は低年次生が参加できるインターンシップ等も増えてきました。キャリア意識を高めるためにも、業種・企業を比較検討するためにも積極的に参加しましょう。インターンシップ等に参加することで早期選考に繋がる可能性もあります。

#### ■ 親子で「将来どう考えているの?」など何気ない会話が◎

あれこれアドバイスしたくなるのですが、まずは本人の意思を聞きましょう。



不明な点はキャリア支援課で解決!

### 2023年度からのインターンシップ制度まとめ

インターンシップ等の学生のキャリア形成支援に係る取組を4つに類型化

#### 「インターンシップ」とは称さない

就業体験を必須とせず、「**個社・業界の情報提供等**」や「**教育**」が目的

タイプ①  
オープン・カンパニー

タイプ②  
キャリア教育

#### 「インターンシップ」と称して実施

就業体験が必須「**自身の能力の見極め**」や「**評価材料の取得**」が目的

タイプ③  
汎用的能力・専門活用型  
インターンシップ

タイプ④  
高度専門型  
インターンシップ(試行)

タイプ3・4は企業側が取得した学生情報を採用活動に使用可能

「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)を基に編集。

## 2024年4月 中京大学大学院に 人文社会科学研究科を開設

(文部科学省に設置届出手続中)

文学、国際英語学、法学、経済学、経営学研究科の修士課程を統合し、2024年4月、人文社会科学研究科を開設します。一つの研究科になることで、専門分野を超え、汎用的かつ学際的な知識やスキルの習得を目指す環境が整います。また、自らの専門分野に隣接する学問分野を今まで以上に学修しやすくなります。

### そもそも大学院とは…

大学院は高度な研究能力と知識を養い、自身の専門性を高めることができる場所です。一般的には修士課程と、さらに研究を深めるための博士課程が設置されています。在籍期間は、原則として修士課程が2年間、博士課程が3年間です。修士課程修了後は「修士」、博士課程修了後は「博士」の学位が授与されます。

### 大学院進学ってハードルが高い?

### 今後はスタンダードな進路になる可能性が。



一般的に大学院進学と聞くと、やや遠い存在のように感じるかもしれません。しかし、海外に目を向けると、日本の3～8倍の修士号取得者数がある国もあります。グローバル化が急速に進んでおり、文理、そして業種・職種を問わず、高度な知識やスキルを有することの証しとして、修士号、また、その先の博士号を取得していることの価値は、今後さらに高まっていくと考えます。

将来を見据え、選択肢の一つとして  
大学院への進学を考えてみてはいかがでしょうか。

## 大学院進学者の声

佐久間 有美さん 修士(文学)

中国古来の詩文集に登場する「鹿」の描かれ方が、日本の万葉集に登場する「鹿」の描かれ方に影響を与えていたのではないかと考え、もっと学びを深めたいと、大学院に進学して研究を続けました。学部生時代に得た学びと疑問を、大学院の2年間で集中して深めることができたことはとても有意義でしたし、そこで得られた学びは、自分の財産となっています。

## 中京大学学部生だけの大学院進学特典があります

### 大学院進学奨励学生制度

学部4年生のときに大学院の開講科目を履修する制度です。履修料は1単位1000円。大学院進学を考えている学生はぜひ利用してください。

対象学部  
文、国際英語、国際教養、法、経済、経営、総合政策、スポーツ科学部

※大学院進学奨励学生になるには、一定のGPA基準を満たす等の出願資格があります。

### 学内特別選抜(選抜方式)

人文社会科学、工学、スポーツ科学研究科の大学院入試では、中京大学の学部4年生を対象にした学内特別選抜を導入しています。この選抜は筆記試験を課さず、主に口頭試問の評価によって合格を判定します。

※学内特別選抜を受験するためには、一定のGPA基準を満たす等の出願資格があります。

### 入学金及び教育充実費の減額

中京大学学部卒業生の入学金は2万円です(通常は20万円)。また、入学初年度の春学期の教育充実費は通常の半額になります。



「興味はあるけど私でも進学できる?」「大学院卒業後の就職は?」など、どのようなことでも構いません。  
大学院進学相談は各キャンパスの教務センター(大学院係)へ



2024年4月、中京大学大学院に  
**人文社会科学研究科**  
**誕生!**



中京大学の広報誌やスポーツ誌は、卒業後は希望された方のみにお送りしております。  
卒業後の送付についてご希望がありましたら、コードを読み取り、登録をお願いいたします。

学園情報・広報誌等お申し込みフォーム ▶

